

# 施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7648 (観光交流室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施 策	2	<b>観光</b>

## 1. 施策の基本方針

*Plan*

- 観光客のニーズに添った多彩なメニューを整備し、市域全体を魅力ある楽しい観光のまちとして集客の促進を図ります。
- 集客交流のための機能を整備して、新しい都市観光を創出します。
- 広域観光ネットワークを活用し、一体的な観光客誘致戦略のもと積極的な情報発信を行い、広がりのある広域的観光ゾーンの形成を目指します。

## 2. 目標

### 重点目標

*Plan*

- 魅力ある観光地づくり**
- 地域資源を掘り起こし、滞在型・体験型等の多彩な観光メニューを整備して、エコツーリズムの推進に努めます。
  - 「食」は観光の大きな魅力となることから、名張特有の多彩な食材を用いたB級ご当地グルメ「名張 牛汁」を全国にアピールし、集客の促進を目指し、平成25年秋に「中日本・東海B-1グランプリ」の開催誘致に取り組みます。
- 集客交流機能の向上**
- 民間活力による観光地としての話題性や集客交流機能の向上に繋がります。
  - 市内にある観光施設（公園、トイレ、ハイキングコース、キャンプ場）を清潔・安全・快適な状態に保たれるよう施設に応じた適切な維持管理を行うことで、利便性を高め、観光地への入込客数増加を目指します。
  - 集客交流機能向上を目指し、観光業者や旅行会社等と連携して新しい観光ルートの開発を行います。
- 広域観光戦略**
- 近隣市村と観光を通じた広域連携を強化することで、近隣観光地との相乗効果による観光誘客・情報発信を行います。また、三重県や奈良県の補助メニューを活用した事業展開を行います。

### 目標達成に向けた課題

*Plan*

- 魅力ある観光地づくり**
- エコツーリズム推進法に基づいて全体構想を策定し、地域資源の掘り起こしを行い、観光関係者と連携して効果的・戦略的なアクションプログラムを検討していくことが必要です。
  - 「中日本・東海B-1グランプリ」誘致に向けて、具体的な体制整備が必要です。
- 集客交流機能の向上**
- 期待される役割や機能を発揮するため、観光協会においては運営基盤の強化や事業の透明性、公平性の確保が必要です。また、花火大会の運営においては、長引く不況下で企業からの協賛金の確保が難しくなっており、市民への更なる資金面での協力を求めていくことが求められます。
  - 観光地の環境保全に対して決め細やかな配慮が求められる中で、老朽化が進む施設も多く、委託や指定管理者制度を活用した効率的な施設管理が必要です。
  - 魅力ある旅行プラン作成のために、統計資料や観光客アンケートを活用した新しい観光ルートの開発が必要です。
- 広域観光戦略**
- 広域的な情報発信機能の強化に向け、東大和西三重地域だけでなく、地域や美し国おこし三重実行委員会と連携した取り組みが必要です。

### 施策指標（目標）及び達成状況

*Plan*

*Do*

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
観光入込客数（市全体）（人）	目標	-	-	-	-	480,000	482,000	48%
	成果	297,000	365,000	312,000	385,630			
観光入込客数（赤目滝）（人）	目標	-	-	-	-	260,000	265,000	0%
	成果	193,000	177,000	177,000	145,613			
観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数（件）	目標	-	-	-	-	440	670	0%
	成果	410	283	290	350			
東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数（件）	目標	-	-	-	-	25	28	0%
	成果	20	18	20	20			

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

魅力ある観光地づくり  
 ・エコツーリズムの推進については、全体構想の策定に向けて、関係者との十分な協議を行いました。今後は地元で活動している観光関連団体と連携してアクションプログラムの検討に取り組みます。  
 ・「中日本・東海B-1グランプリ」誘致に向け、関係機関との協議を行いました。

集客交流機能の向上  
 ・効果的・効率的な運営のため、事業内容について観光協会と協議を進めました。また、花火大会の運営については、「市民の花火」であることを広く一般に周知し、市民協賛金への協力を求めています。  
 ・新たな観光ルート作成に向けて、関係者と検討を行いました。

広域観光戦略  
 ・東大和西三重地域（管内市村・連盟会員）、奈良県（巡る奈良実行委員会）、地域団体などと連携し、広域的な情報発信などの取組に努めました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

エコツーリズムの推進や東大和西三重地域を始めとする広域観光、美し国おこし三重の取り組み等、観光関連団体や地域と連携し、観光地の新しい魅力づくりや観光ルートの開発に向けた協議を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 13 事業)

Do

Check

事業 事業 シート 番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		事務事 業シ ート での 今後 の 方向	施策 達成 への 貢献度	施策 達成 への 重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1113	エコツーリズム推進事業	観光交流室	6,580	13,074	H23完了	A	A
1115	観光振興対策費	観光交流室	4,870	5,646	継続(事務改善)	A	A
1116	名張らしさ観光商品企画・販売事業	観光交流室	3,757	4,687	H23完了	B	B
1117	名張観光まち歩き事業	観光交流室	82	139	H23完了	C	C
1182	エコツーリズム構想策定事業	観光交流室	-	4,959	継続(現 行)	B	B
1183	着地型観光推進事業(緊急雇用創出事業)	観光交流室	-	1,717	H23完了	C	C
3062	内水面資源観光活用事業補助金	観光交流室	2,585	2,585	継続(現 行)	B	B
3063	名張夏まつり事業補助金	観光交流室	2,100	2,100	継続(現 行)	B	B
3064	名張市観光協会補助金	観光交流室	6,500	6,500	継続(現 行)	B	B
3082	着地型観光事業促進支援事業	観光交流室	821	821	H24完了予定	C	C
5019	キャンプ場管理費	観光交流室	2,931	3,085	継続(現 行)	B	B
5020	観光施設管理費	観光交流室	7,452	9,056	継続(現 行)	B	B
6085	広域観光事業	観光交流室	400	250	継続(事務改善)	A	A
合計(単位：千円)			38,078	54,619			
小計(うち、一般会計分)			38,078	54,619			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<p>観光地としての魅力向上や集客機能の強化などに取り組んだ結果、市全体としての観光入込客数を増加させることができました。一時的に低下していた市観光協会ホームページのアクセス件数も上昇傾向にあり、情報発信機能の強化を図ることができたと考えられます。一方で、赤目四十八滝の観光入込客数については、天候等の影響もあって減少しており、集客機能の強化に向けた工夫が必要です。</p>

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **A c t i o n**

エコツーリズムや名張らしい観光商品の開発など、社会情勢に基づく観光ニーズの変化に見合った取組は、徐々に成果を上げてきていると考えられます。  
一方で、観光地としては避けられない、天候などの影響による観光入込客数の不安定性に対しては一定の取組が必要と考えられます。  
今後の方向性としては、観光地としての魅力向上と集客効果を高めるため、エコツーリズムの取組など多彩な観光メニューづくりの事業を継続しつつ、天候に左右されずに集客効果が望める『食』に関する取組、すなわちB級グルメなどにも積極的に取り組んでいくことが必要です。

7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他（意見）
・観光関係団体の主体的な取組を支援する事業手法を検討する必要がある。